

研究会報告

(1) 平成27年度 小学校家庭科夏季実技研修会実施報告

ア 期 日 平成27年7月29日(水)
イ 会 場 愛媛大学教育学部附属小学校 家庭科室
ウ 日 程

9:00~10:00	受付
10:00~10:10	開会あいさつ
10:10~11:45	研修「布を使った製作の教材活用」
11:45~11:55	指導(辻井委員長)
11:55~12:00	閉会あいさつ



エ 研修内容

「布を使った製作の教材活用」

愛媛県家庭科研究会で開発した「家庭科布教材」(以下キット)の活用方法について実習を通して研修を行った。

① 研修のめあての説明

- ・キットの活用方法の工夫を考える。
(作った物が生活で使えることを実感させる工夫)

② キットのセット内容の説明

- ・布 37cm×45cm〈綿布2枚(無地+チェック柄)〉
- ・ボタン3個

③ 身につけさせたい技能の説明

手縫い

玉結び、玉どめ、なみ縫い、返し縫い(本・半)、かがり縫い、ボタン付け、布の返し方、糸こき、アイロンがけ

ミシン縫い

直線縫い、返し縫い、アイロンがけ

④ 製作活動



〈製作の様子〉



〈出来上がった作品例〉

⑤ 子どもの学びを見取る工夫

ワークシートの工夫

- ・縫い方で工夫したこと
- ・飾り付けで工夫したこと
- ・写真を付ける

など

子どもの資質や能力を、多角的に把握できるようにワークシートを工夫する。

オ 感想

- ・今まで、セット教材（キット）の活用に（創意工夫の点で）難しさを感じていた。しかし、使い方だいで工夫の余地が生まれ楽しく取り組めることが分かった。
- ・それぞれの先生方の工夫が参考になった。
- ・子どもたちが楽しく、ミシン縫いや手縫いの技能を身に付けられるようにするには、まずは、教師がその楽しさを体験することが大切であることを実感することができた。この経験を今後の実践に生かしたい。
- ・今まで、こんな経験をしたことが無かったので、大変よかった。ちょっとした準備（余り布、フェルト、かわいいボタン…等）があるだけで、工夫が広がっていくことを実感した。
- ・「小物作り」では、作品の種類が限られていたので、このような工夫をすれば、子どもたちの学習が深まることを体験できてよかった。
- ・自分も実際に子どもたちと一緒に準備をしっかりして、取り組みたい。
- ・一つのキットから、工夫をすることで、いろいろなものを作ることができ、大変参考になった。